

2017 年度

事業計画書

公益財団法人 都市活力研究所

はじめに

2016年度、日本経済はまもなく4年目に入ろうとしている異次元の金融政策の継続にも関わらずデフレ脱却を達成できずにいる。また、世界情勢はこれまでグローバル化を牽引してきたはずの英米両国において内向きな政治体制への転換が起こるなど混迷を深めつつある。

一方、当財団ではこれまで継続してきた様々な取り組みがまさにいま、実を結びつつあるところである。創薬・バイオ分野においては、二つの大型プロジェクトが立ち上がった。いずれも各分野で注目度の高いものだが、具体的な成果が得られるかどうかは今後の運営次第でもあり、引き続き支援に注力していきたい。

昨年度直営化したベンチャー企業のためのエコシステム、GVH(グローバルベンチャーハビタット)からは次世代を担うスタートアップが次々と巣立っている。年に一度の起業の祭典「HackOsaka」もこれまでで最高の盛り上がりを見せており、今後も引き続き起業を加速する仕組みづくりに取り組んでいく。

まちづくり分野では、数年にわたって活動した「都心戦略検討会」が一定の成果を得てこれまでの報告を取りまとめた。今年度からは運営方針を見直して新たな体制で新スタートを切ることとする。

このように、それぞれの分野において確かな存在感をもって大阪・関西の産業振興とまちづくりに貢献していくため、今年度も数多くの事業を運営していく計画である。また、これらの取り組みに対してより多くの関係者の支援や参加が得られるように、活動内容の広報にも力を入れていく。

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

バイオ・ライフサイエンス分野や ICT 分野において産学官それぞれの人と情報の交流連携を促進し、シーズ(大学等の有望な技術や研究テーマ)の育成、スーパーコンピュータの利用促進、オープン・イノベーション・モデルの構築支援等によって、これまでにない産業の創出や産業のイノベーションを図るとともに、産業振興を支える人材育成のあり方について検討することを目的として、以下の事業を実施する。

1. バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズを育成する事業(相談、助言)

● **創薬シーズ相談会**

創薬シーズや創薬基盤技術を保有する研究者からの相談に対して、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者等による相談助言を行う「創薬シーズ相談会」を大阪医薬品協会と共に開催する。2015 年度から連携した医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) 内や地方の大学での認知度向上に努め全国からシーズを収集する。

● **経営支援相談会**

バイオ関連分野での起業を志す方が抱える経営課題の解決のためのコンサルティング機関として、無償にて起業支援を行う。起業準備、マーケティング、法律、税務・会計など、経営に関する様々な分野の専門家があらゆる相談ニーズに応える。

2. 創薬分野におけるコンピューター利用を促進する事業(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)

● **インシリコ創薬支援事業**

NPO 法人バイオグリッドセンター関西と協力し、創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用(インシリコ創薬)を推進するため、業界の動向調査や講習会等を実施する。

● **FMO コンソーシアム**

創薬における計算機利用のうち、FMO(フラグメント・モレキュラー・オービタル)法による蛋白質と化合物の結合状態を解析するアプリケーションの創薬現場での利用可能性を検証するコンソーシアムの運営支援を行う。

● **AI コンソーシアム(LINC)**

製薬会社や IT 企業などが中心となり、ヘルスケア産業(創薬含む)における人工知能(AI)の活用を促進するコンソーシアムの運営支援を行う。

3. 技術革新や新たな価値創造を支える人材の育成、及び環境整備の方策について調査を行う事業

(1) 人材育成事業(講座、セミナー、育成)(表彰、コンクール)

- **GVH Demoday, Meetup**
GVH メンバーを中心に在阪起業家のさらなる成長を促進することをめざし、投資家との接点づくりのための Demoday、起業に関する知見を広げるための Meetup を開催する。
- **GVH Startup Camp**
起業家の排出をめざし、大学生、若手社会人を対象とした短期集中型起業家育成プログラムを実施する。
- **国際会議(Hack Osaka)**
関西における起業家マインドを醸成し、地域起業支援コミュニティを活性化するため、海外のイノベーションへの取り組みの先進的事例を紹介するとともに、国内外の起業家を対象としたビジネスプランコンテストや交流促進のためのイベント等の企画運営を大阪市とともに行う。
- **バイオ講座**
起業を視野に入れたライフサイエンス分野の技術経営講座を開催する。約半年間全8日間、座学およびグループワーク、交流会から成る。神戸大学と共同主催し4年目を迎え、起業家および企業内起業家育成を目的としてバイオ分野の産業振興につなげる。
- **関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー**
ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開している関西の研究者を招き、健康産業に対するインスピレーションおよび産業化へのイマジネーションを与えることを目的とする。産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成や産官学の対話の促進につなげる。
- **スマートウェルネス・オープンセミナー**
健康医療分野の産業振興に資する新たなビジネスモデルや新たな医療関連サービスの創出のための調査・研究を行う。健康医療関係の専門家や識者を招き、最新情報の提供を目的としてセミナーを開催する。
- **スーパーコンピューティングコンテスト**
東京工業大学、大阪大学と協力し、高校生を対象としたスーパーコンピューターのプログラミング・コンテストを開催する。

(2) 調査・研究事業(調査、資料収集)

- **グローバルヘルスイニシャティブ(仮称)**
健康医療領域の国際展開とヘルスクラスターの国際連携を支援する機能の関西における活動拠点化の実現可能性について、大阪商工会議所と共に調査を行う。

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

我が国の都市、まちづくりのあり方は、社会的、経済的な環境の変化により大きな転換点を迎えている。当財団では、次代の大阪に向けてこれからのまちづくりのあり方について調査研究を行うとともに、都心や郊外住宅地といった各地域にも焦点をあて、情報収集や研究、発信等により、まちづくりの推進を図る。

1. これからのまちづくりのあり方についての調査研究(調査、資料収集)

- **UII まちづくり研究会**
大阪都心部の活性化に向けてこれからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行う。
- **郊外まちづくりについての調査・研究**
人口減少、都市のコンパクト化が進む中でのこれからの郊外住宅地のあり方について調査研究を行う。
- **関西ツーリズムサポーターズ**
これからのインバウンド観光のあり方について、外国人留学生の目から見た調査やアドバイスを行う。

2. まちづくりに関する情報発信(講座、セミナー、育成)

- **UII まちづくりフォーラム**
まちづくり分野での新たな施策・制度や動向を紹介するセミナーを開催し、大阪・関西の都市が抱える課題や解決の方向性について、様々な視点から議論を深める。
- **研究交流セミナー「これからの郊外、住まいと鉄道」**
大都市圏の縁辺部に位置しながら鉄道ネットワークに支えられている郊外地域にスポットをあて、その環境資源を最大限生かした住宅地再生・再編の方策を議論する。
- **まちづくりレターの配信**
まちづくりに係わる様々な話題や動向を調査してレター形式によりひろく発信する。
- **インバウンド観光セミナー「観光のひろば」**
インバウンド観光をテーマにしたセミナーを開催し、観光関係者への情報提供とコミュニティ形成を行う。

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

産学官連携による産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするため、ノウハウ取得や人的ネットワーク形成を目的として、補助的に以下事業を実施する。

1. NPO 法人バイオグリッドセンター関西の運営支援

情報技術とバイオ、医療の融合分野における研究開発並びに教育普及活動を行うことを目的として設立された同法人の、事務局としてその活動を支援する。

- **バイオグリッド HPCI プロジェクト(KBDD プロジェクト)**

NPO 法人バイオグリッドセンター関西・製薬企業等とともにスーパーコンピュータ「京」の産業利用枠を活用した創薬関連プロジェクトを推進し、「京」の産業利用促進のための調査研究を行う。また、2020 年稼働の次世代スパコン向けの創薬アプリ開発に向けて製薬業界の意見集約などを行う。

2. 創薬関連プロジェクトの運営支援

公益事業1で産学間や企業間連携についての調査研究の結果、新たに生まれた研究開発プロジェクトの運営支援を行う。

- **一般社団法人マイクロバイームコンソーシアムの運営支援**

製薬企業を中心とする 10 社余りでコンソーシアムを組成し、腸内細菌叢の研究における前処理や解析法の推奨プロトコルの策定に向けた活動を実施する。当財団は今年度設立される予定の新法人を事務局として支援する。

3. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方を実践に移すため、都心部におけるエリアマネジメント団体の活動を支援する。

- **梅田地区における案内所業務への支援**

都心部における案内サービスのあり方を検討するとともに、各案内所で共通で利用できるツールの作成を通じて案内所業務への支援を行う。

- **梅田地区エリアマネジメント実践連絡会の活動支援**

同連絡会が実施する、海外企業誘致のための受入れ環境整備やプロモーション事業を受託し、支援を行う。

- **エリアマネジメント活性化会議の事務局支援**

大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプログラムとガイドライン策定をめざし、大阪市と市内 8 団体により構成する会議の共同事務局を運営する。

4. 都市住宅学会関西支部の運営支援

大都市近郊部の高齢化や人口減少などの課題に対応するため、鉄道の駅を中心とした

コンパクトなまちづくりについての調査研究等を行っている同学会の事務局業務を受託し、その活動を支援する。

5. 起業支援オフィスの運営

大阪地区の起業環境を整備、改善し、起業活動を活性化するため、コワーキングオフィス「グローバルベンチャーハビタット大阪」を運営するとともに、同施設の利用者への事業開発支援を通じ、技術革新や新たな価値創造を支える人材の育成、及び環境整備の方策検討のための知見獲得を目指す。